

本会議場をご紹介します

区議会の本会議場は、全議員が集まって会議を行い、区議会の意思を決定する重要な場所です。議員による区政についての代表質問・一般質問等も、この本会議場で行われます。本会議場の施設等をご紹介します。

③ 区長席 ④ 理事者席(※)

区長および理事者が着席する席です。理事者席は演壇をはさんで両側にあり、議員席と向かい合っています。

※理事者とは、区の仕事をしている部長等のことをいいます。



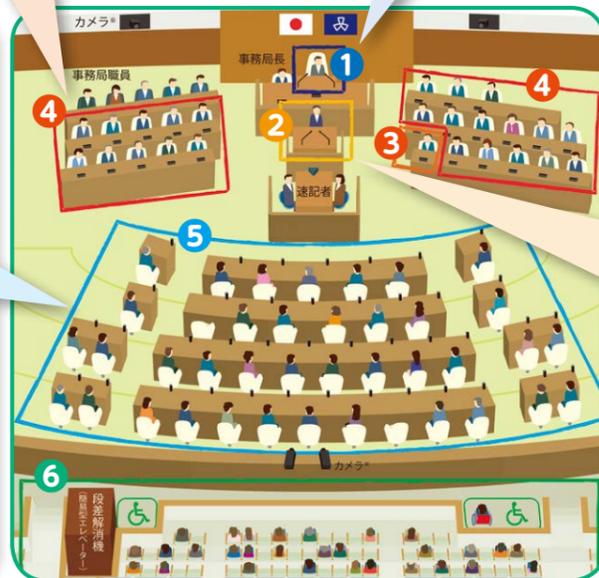
① 議長席

議長が着席する席です。議長はここから本会議を進行します。議長席の隣には区議会事務局長の席があります。



⑤ 議員席

議員が着席する席です。着席する席は決まっています。各席に設置されているマイクは、議員が自席から発言する際に使用します。



② 演壇

議員や区長・理事者が発言する場所です。平成30年度に段差解消を図り、車いす等を利用したまま発言を行えるようにしました。



⑥ 傍聴席

傍聴席の定員は77人です。(車いす席4人を含みます)傍聴席の主な設備は右のとおりです。



車いす用スペース

車いす用のスペースが4人分あります。



段差解消機

議会棟5階と傍聴席をつなぐ簡易型エレベーターです。



難聴者補助設備(磁気ループ)

磁気ループに対応する補聴器をご利用の方は、そのままご使用可能です。ご希望の方には受信機をお貸しします。

だれにでも分かりやすい、親しみやすい 開かれた区議会をめざして、取り組みを進めています

品川区議会は、より多くの方に身近に感じていただける開かれた区議会をめざし、取り組みを進めてきました。これまでの主な取り組みを振り返るとともに、今後の取り組みについてご紹介します。

- 2001年(平成13年)** : 本会議のケーブルテレビ放送を開始。
- 2002年(平成14年)** : 予算・決算特別委員会総括質疑のケーブルテレビ放送を開始。
- 2003年(平成15年)** : 品川区議会ホームページを開設、会議録検索システムも開始。
- 2010年(平成22年)** : 本会議等のインターネット録画中継を開始。
- 2011年(平成23年)** : 議会のあり方検討会を設置。
- 2014年(平成26年)** : 本会議のインターネット生中継を開始。
- 2015年(平成27年)** : <今任期の取り組み>
議会改革検討会を設置。あわせて、議論をより深く、スピーディーに行うための3つの分科会(住民参加・情報発信・議会機能強化)も設置。
- 2016年(平成28年)** : 区議会ホームページをリニューアル(「こどものページ」などのページの新設、音声読み上げ機能・ふりがな機能の追加など)。議会広報番組を作成し、ケーブルテレビ放映や区議会ホームページ上での公開を開始。
第1回議会報告会を開催し、140名を超える参加者と意見交換等を実施。品川女子学院生徒との意見交換会を初開催。
- 2017年(平成29年)** : 議員が主体となって議会改革に取り組むために、4つの会議体(議会改革推進会議、議会報告会等準備会議、広報会議、ICT推進会議)を設置。
第2回議会報告会を開催。品川女子学院生徒との意見交換会(第2回)を開催。インターネット中継のスマートフォン・タブレット対応を開始。本会議・委員会でのタブレット端末を活用した審議を開始。
- 2018年(平成30年)** : 区議会だよりをリニューアル(区議会議員により編集)。区議会だよりの電子書籍(デジタルブック)配信を開始。
第3回議会報告会を開催。品川女子学院生徒との意見交換会(第3回)を開催。本会議場の演壇周辺等をバリアフリー化。議会棟5階に「だれでもトイレ」を設置。



第1回議会報告会



だれでもトイレ

そして、これから・・・

2019年：聴覚障害者のための音声文字化システム導入に向けて準備を進めています

現在、区議会では、聴覚障害者のための音声文字化システムについて、2019年度内の導入をめざし準備を進めています。この音声文字化システムでは、本会議場で発言のあった音声データをクラウドサーバー上の文字化システムへ送信し、文字データに変換します。システム導入後は、区議会事務局で貸し出しするタブレット端末を使用してリアルタイムで発言内容を閲覧できるようになります。

